

# 赤十字講習 指導員 の皆さまへ

## ～安全に講習を行うためのお願い～

- 講習前に検温し、別紙4「健康チェック表」により健康状態等を確認してください。
  - ※体調がすぐれない場合は、支部にご連絡ください。
  - ※「健康チェック表」は、支部に提出不要です。
  
- 講習時にはマスクとフェイスシールドを着用し、講習前後には十分な手洗いと手指消毒を行ってください。
  - ※フェイスシールドは支部から送付しますが、マスクは各自でご準備ください。
  
- 講習前に、主催者から受講者が記入した別紙4「健康チェック表」を受け取り、健康状態に異常がないことを確認してください。
  - 確認後は、別紙4「健康チェック表」を主催者に返却してください。
  - また、講習中に体調が悪くなった受講者が発生した場合、主催者と中止又は継続について協議してください。
  
- 別紙5「講習実施チェックリスト」を用いて、講習前、講習中、講習後において、各項目が遵守されているか確認し、遵守されていない場合は、主催者に改善を依頼するとともに、講習会の中止又は継続について協議してください。
  - なお、別紙5「講習実施チェックリスト」は報告書と併せて支部にご提出をお願いします。
  
- 主催者から受講者に別紙2「赤十字講習受講者の皆さまへお願い」の配布と説明をお願いしていますが、講習のはじめに、確認のため指導員から再度、受講者に説明をお願いします。
  
- 受講者の実技（心肺蘇生法の実技や人と人とが接触する実技）は実施しないでください。
  
- 講習時間は長くても1時間程度としてください。
  
- 指導員の実技デモで使用する資材については、講習前後に必ず消毒を行ってください。
  - ※分置先に消毒薬を設置してあります。消毒方法については、裏面をご確認ください。
  - ※人工呼吸の実技デモを伴う講習については、人形の肺をお送りますので、講習前に取り付けてください。
  - なお、使用した肺は、講習後に廃棄をお願いします。
  
- 主催者に別紙1「赤十字講習主催者の皆さまへ」を配布していますので、内容について、ご確認ください。

# 資材の消毒方法について

1. 塩素系漂白剤を希釈して次亜塩素酸ナトリウム消毒液を作ります。

①塩素系漂白剤（キャップ半分）を専用ボトルに入れる。

②専用ボトルに水を入れる。



2. クッキングペーパーに次亜塩素酸ナトリウム消毒液を適量しみ込ませ、資材を拭き、10分程度放置する。



3. クッキングペーパーに水をしみ込ませ、資材を拭く。

※消毒を行う際は、ゴム手袋を着用してください。

※次亜塩素酸ナトリウム消毒液は、日光と空気に触れる時間が長いと殺菌効果が弱まるので、短期間で使い切ってください。

※消毒後は、塩素系漂白剤の蓋をしっかりとめて、日の当たらない場所に保管してください。